

**【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取組計画に対する
取組実施内容・取組予定事例**

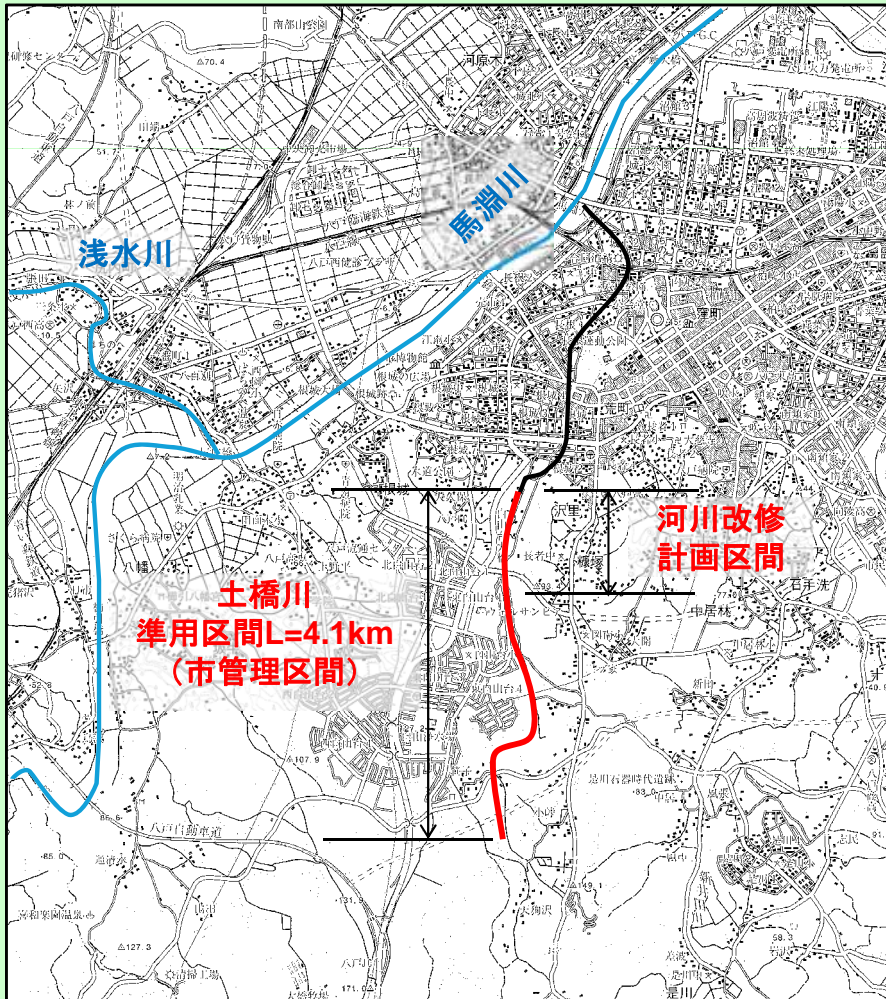
令和 7 年 2 月
馬淵川流域治水協議会

【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (八戸市) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

馬淵川下流部に合流する準用河川土橋川において、河川整備計画の目標規模である昭和57年5月洪水を安全に流下させる河道断面を確保するため、河川改修を実施。

位置図



現状



護岸倒壊



土砂堆積

整備状況

(令和5年度末時点)



【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (三戸町) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

自主防災会や町内会への防災出前授業（講師は防災士の資格を有する町職員）を実施し、水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やす。



単なる座学ではなく、町の防災マップや重ねるハザードマップを用いて、自分の地域の中にある災害リスクを知るとともに、避難所までの移動ルートを考え、災害時の非常持ち出し品の準備を考えられるようなワークショップ形式の出前授業を実施している。

【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (五戸町) 取組実施内容・取組予定事例

【取組予定】

令和6年度に地域防災計画の修正を行い、令和7年度は新たな計画に基づいた総合防災訓練を実施予定。

【令和5年度に実施した総合防災訓練の様子】

五戸町消防団排水訓練



避難所開設訓練



ドローンによる映像伝送訓練



【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (田子町) 取組実施内容・取組予定事例

【令和5年度の主な実施内容】

○田子町総合防災訓練の開催 R5. 10. 14実施



○田子町災害対策本部図上訓練の開催 R5. 11. 11実施

大規模な風水害発生時における職員の業務遂行能力の向上を図るとともに、防災関係機関との連絡調整機能と連携体制を確認し、改善すべき課題の洗い出しを行うことを目的に実施。



○災害時の際の備蓄品整備

- ・ 備蓄用アルファ米 100食
- ・ 保存用パン 540食
- ・ 保存用菓子(ビスケット) 120食
- ・ 保存用野菜ジュース 300本

【令和6年度の主な取組み予定】

○自主防災体験研修会の開催 R6. 7. 11実施
自主防災組織活動の更なる充実を図るために実施

○田子町総合防災訓練の開催 R6. 10. 19 (雨天中止)
田子町地域防災計画に基づき、災害発生時における行政及び防災関係機関並びに地域住民の連携による迅速、的確な災害対策を確立することを目的に実施。



○田子町消防団ドローン隊結成 R6. 12. 15実施
災害発生時や発生が予想される場合に、ドローンを活用した災害調査を行うため、田子町消防団ドローン隊の結成。また、操作訓練を実施し防災力強化を図る。

○水防団員（消防団員）の募集

年度	団員数	前年比
令和4年度	236	0
令和5年度	232	△ 4
令和6年度	230	△ 2

※各年4月1日現在（条例定数278名）

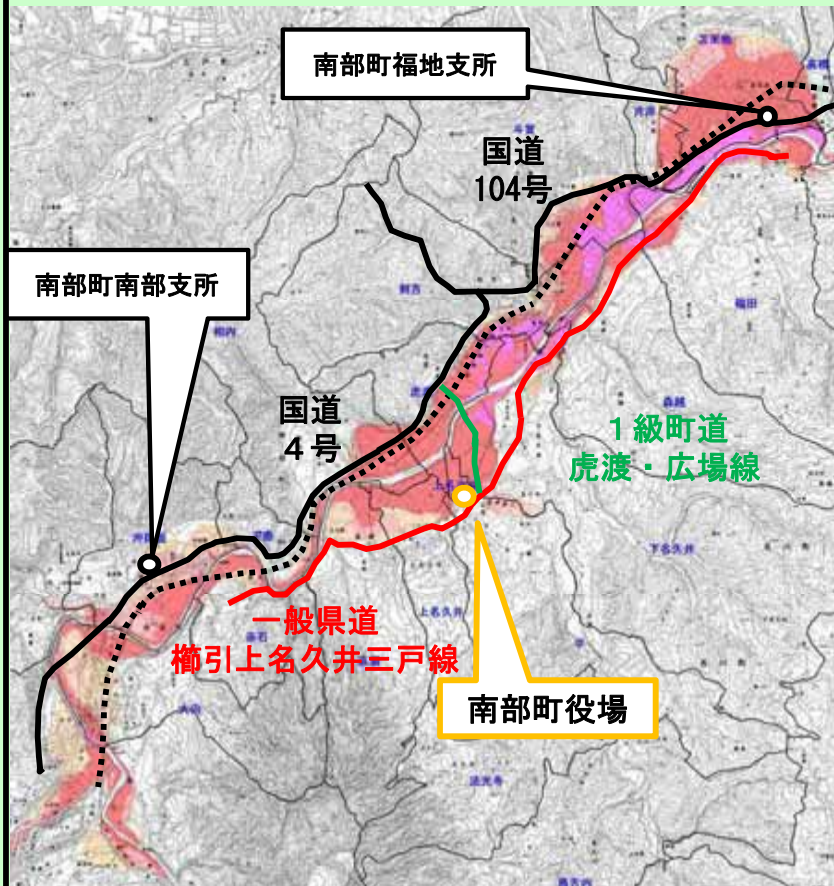
【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (南部町) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

国道4号から一般県道櫛引上名久井三戸線を結ぶ、1級町道虎渡・広場線をかさ上げ
輸送道路を確保し、防災機能強化を図る

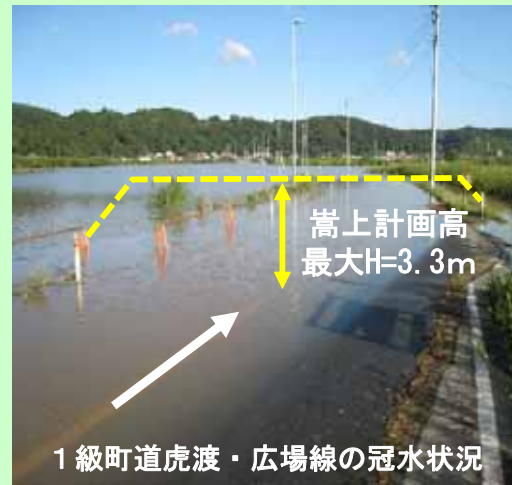
位置図

「馬淵川水系」

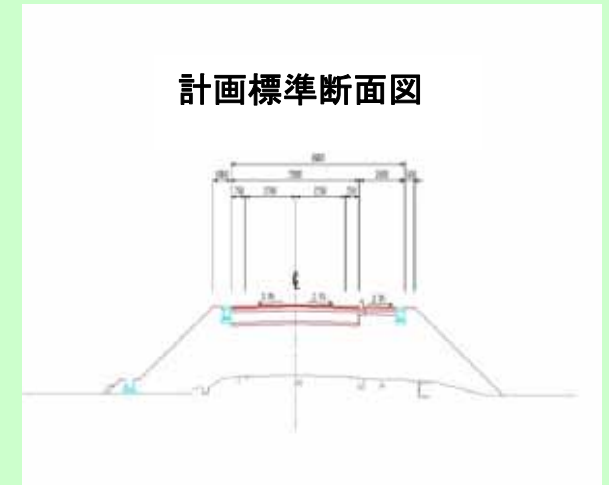


具体的な取組み内容

かさ上げに使用する土砂は、他機関の工事で発生する土砂等も有効的に活用しながら、整備を進めていく。



計画標準断面図



施策の実施工程

取組項目	対策内容	工程		
		短期 (R7まで)	中期 (R12まで)	中長期 (R12以降)
被害の軽減	道路の冠水防止			

【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (新郷村) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

防災マップを作成して全戸へ配布するとともに、自主防災組織や自治会等を対象として想定最大規模の洪水浸水想定区域を踏まえたマイ・タイムラインの有効性や作成に関する研修会を行い、住民の防災意識向上を図ります。



新郷村防災マップ(令和3年3月)



自主防災組織体験研修会の実施

【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (二戸市) 取組実施内容・取組予定事例

○防災ラジオとスマホ(SNS)等を活用した、メディアとの連携による防災情報の提供

防災行政無線のデジタルに併せ、屋外拡声子局(屋外スピーカー)以外の防災ラジオ放送や、スマホ等へのSNS・メール配信を利用した通知など屋内向け情報伝達手段の運用を開始し、災害時における住民への情報提供方法を多様化しています。

具体的な取組み内容

【防災ラジオ】

■ 防災ラジオの仕組み



- 防災ラジオによる放送内容
 - ・Jアラート等の緊急情報 (気象特別警報・土砂災害警戒情報 等)
 - ・二戸市からの避難情報 (高齢者等避難・避難指示 等)
 - ・消防システム連携による火災発生情報
 - ・市等からの行政情報 ※

- 防災ラジオによる放送方法
 - ・事案発生時に、屋外拡声子局と連動して、合成音声による割り込み放送が自動配信される
 - ・上記放送内容の内、※印の内容については、地域コミュニティ放送局である「カシオペアFM」の番組内で放送

【スマートフォン・携帯電話】

- スマホ等へのSNS・メール配信による通知
 - ・スマートフォン向けアプリの「LINE」と、登録制メール配信サービス「いわてモバイルメール」による、防災行政無線で放送した内容の通知サービスを行っています

【屋内向け情報伝達方法の概要】

防災ラジオ 65歳以上の方がいる希望世帯等	戸別受信機 屋外スピーカーが設置されない地域等	スマートフォン メール・LINEを利用した通知	フューチャーフォン(ガラケー) メールを利用した通知	放送聞き直しサービス 電話による放送内容の確認
---------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (八幡平市) 市民の防災意識向上の取組み

○令和5年度北上川上流総合水防演習（写真：左側）

一関市の磐井川左岸東大橋下流河川敷において、8年ぶりに岩手県で開催。河川の出水に備え、水防体制の強化と地域の水防技術・水防意識の向上を図ることを目的として令和5年5月21日に実施。

（参加機関：北上川上流域15市町、自衛隊、日本赤十字社、消防、警察、自主防災組織等の関係機関）

○令和2年度八幡平市総合防災訓練（写真：右側）

台風に伴う大雨により土砂崩れの発生、河川の決壊、家屋の浸水・倒壊、水道・電気などのライフラインの損壊、集落の孤立、さらに落雷による火災が発生したとの想定で、米代川流域の田山地区で行いました。

（参加機関：陸上自衛隊岩手駐屯地、八幡平市、八幡平消防署、岩手警察署、八幡平市消防団、関係自治会）

※本年9月1日の八幡平市総合防災訓練は台風10号の影響のため中止。



北上川上流総合水防演習に参加した
八幡平市水防団



米代川流域田山地区で行われた
八幡平市防災訓練の様子

【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (葛巻町) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

葛巻町では、毎年防災の日に合わせて、住民参加型の町総合防災訓練を実施している。

令和6年度は、川の増水による浸水被害と土砂災害の発生が懸念される状況を想定し、避難所開設・運営訓練のほか、消防団員による水防訓練等を実施した。

これまでの総合防災訓練は、対象地区を限定しての訓練であったが、今後は、地区を限定することなく、全町を対象とした訓練を実施し、多くの町民や関係機関・団体等と連携した訓練を実施していきたいと考えている。



【避難所開設・運営訓練】

自主防災隊や地域の皆さんが職員の指示を受けながらパーテーション等を設置。避難所運営は、町健康福祉課の職員も対応した。



【水防訓練等】

消防団員による、土のうの作成及び、土のう積み工法の訓練。

その他、倒壊した家屋から要救助者を救出し、搬送する土砂救出訓練や火災防御訓練を実施。



【その他】

初期消火訓練や応急手当・心肺蘇生訓練、情報伝達訓練、給電車配備訓練等を実施した。

【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (軽米町) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

地元の小中学生及び地域団体を対象とした防災教育・出前講座を実施。軽米町の過去の水害について知り、防災意識の向上を図った。

小中学生を対象とした防災教育



新たに更新した防災マップの説明



地域団体への防災出前講座

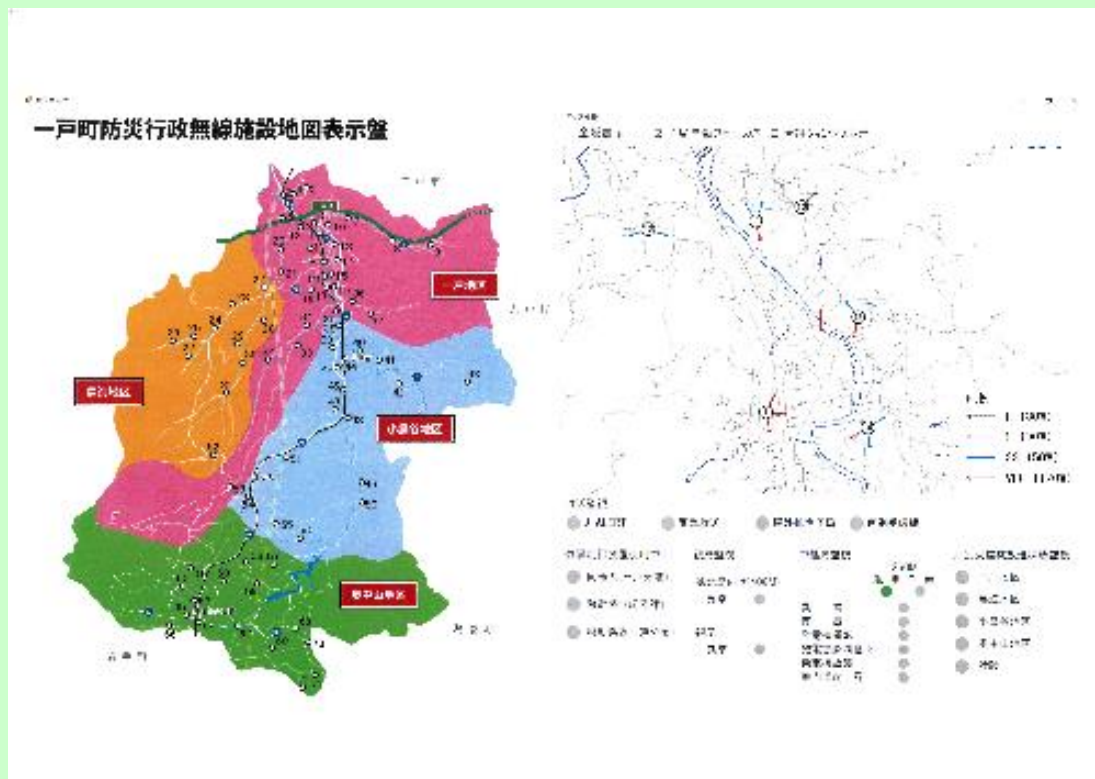


【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (一戸町) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

IP告知端末を利用した防災行政無線は、使用期限による機器の更新を控えていたことから、単に機器更新を行うのではなく、260MHzのデジタル移動系通信システムを利用した防災行政無線への変更を実施した。

拡声局の追加



※無線化により設置条件が緩和されたことから、拡声局を今までの62局から72局へ拡大し、不感地帯の解消を進めることができた。

高性能スピーカの設定



※通常のトランペット型スピーカに代わり、直進性が強く、より遠くに音達できる高性能スピーカ(縦型のスピーカ)を適宜設置した。

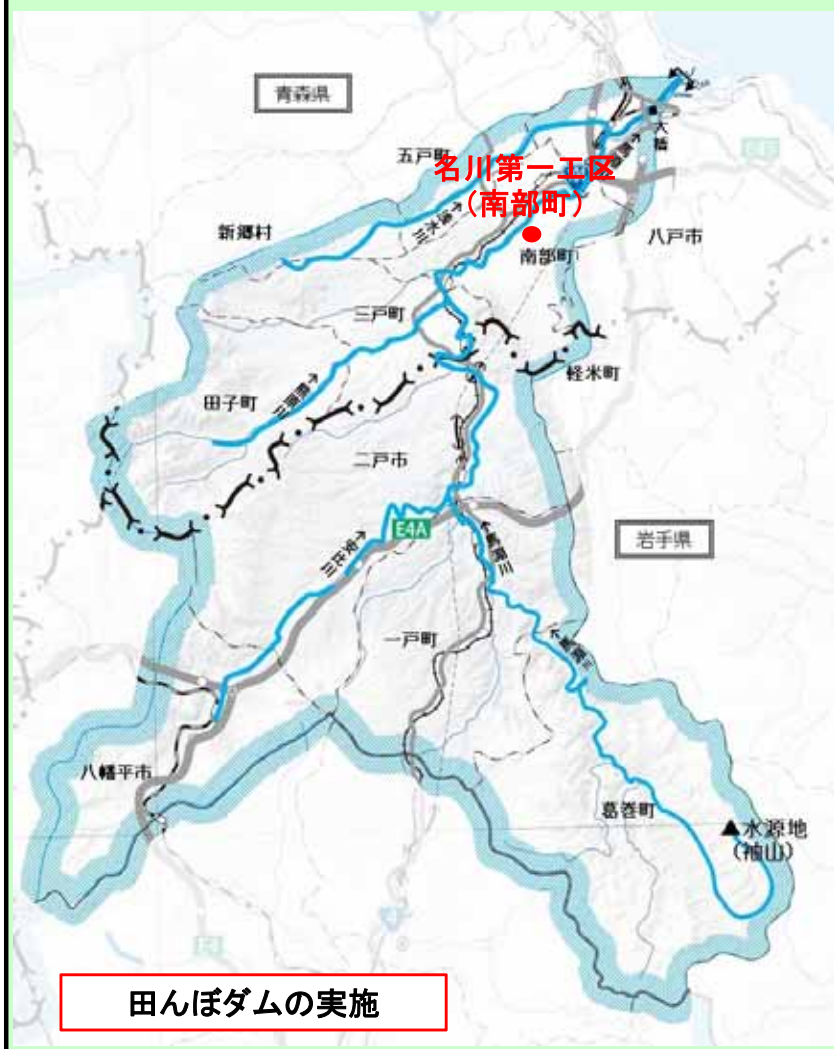
【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (青森県農村整備課) 取組実施内容・取組予定事例

○流域の雨水貯留機能(田んぼダム)の推進

近年、激甚化・頻発化する水害に備え、水田の排水口に流出量を抑制するための板(流出調整板)などの器具を取り付けることで、水田に降った雨水を時間をかけてゆっくりと排水し、水路や河川の水位上昇を抑えることで、溢れる水の量や範囲を抑制し、被害の防止、軽減を図ります。

位置図

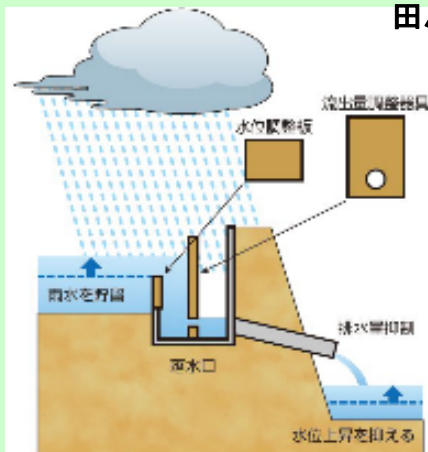
「馬淵川水系」



具体的な取組み内容

- 令和3年度以降に新たにほ場整備事業を行う地区は、原則として水田貯留機能向上を図るため田んぼダムに取り組む。
- ほ場整備事業実施中の1地区で、事業により田んぼダム用の流出調整板を設置済み。今後、耕作者に田んぼダムの取組を促す。引き続き、ほ場整備事業を実施する地区で田んぼダム用の排水柵等を設置予定。
- 令和5年度に田んぼダムの取組マニュアルや農家向けのパンフレットを作成。同資料を活用し、田んぼダムの取組の普及を図る。

田んぼダム(イメージ)



出典：「田んぼダム」の手引き (R4.4)

具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

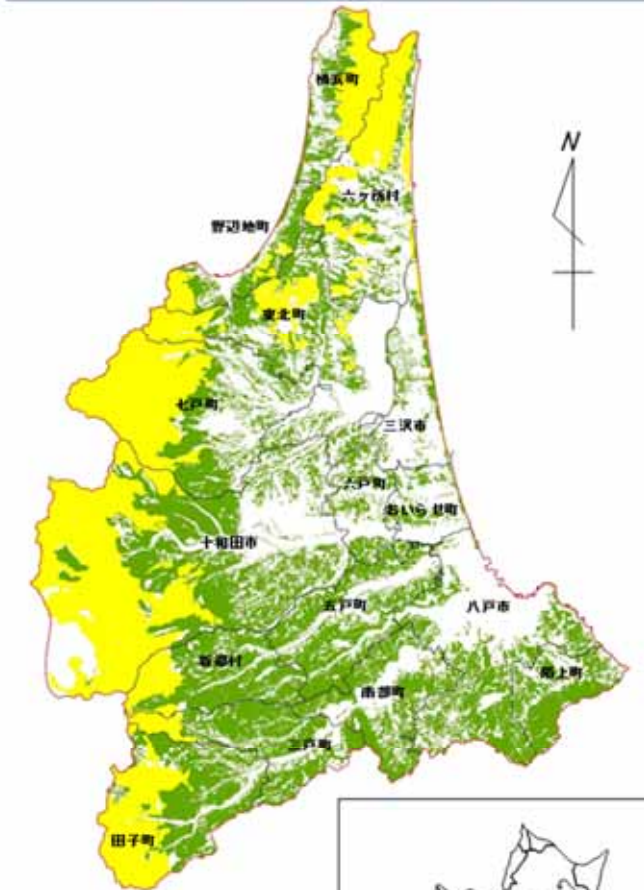
実施工程

区分	取組項目	工程		
		短期 (R7まで)	中期 (R12まで)	中長期 (R12以降)
水田貯留機能の向上	田んぼダム	実施中または予定		

【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (青森県林政課) 取組実施内容・取組予定事例

○民有林(保安林)において森林整備や治山施設の整備を実施

三八上北森林計画区概況図



凡	例
—	計画区界
—	市町村界
■	民有林
■	国有林

三八上北地域森林計画

前半5カ年
(令和2年4月1日～令和7年3月31日)

森林計画抜粋【治山事業の実施に関する方針】

森林の維持造成を通じて、自然災害から地域住民の生命・財産を守り、県土の保全を図るため、緊急かつ計画的な実施を必要とする荒廃地等を対象として、植栽及び本数調整伐等の保安林の整備並びに溪間工、山腹工等の治山施設の整備を行うこととします。

【山地治山】

森林整備（植栽・本数調整伐等）	6箇所
溪間工（ダム・流路等）	11箇所
山腹工（土留・法枠等・緑化等）	6箇所



【森林整備】



【森林整備】



【山腹工】



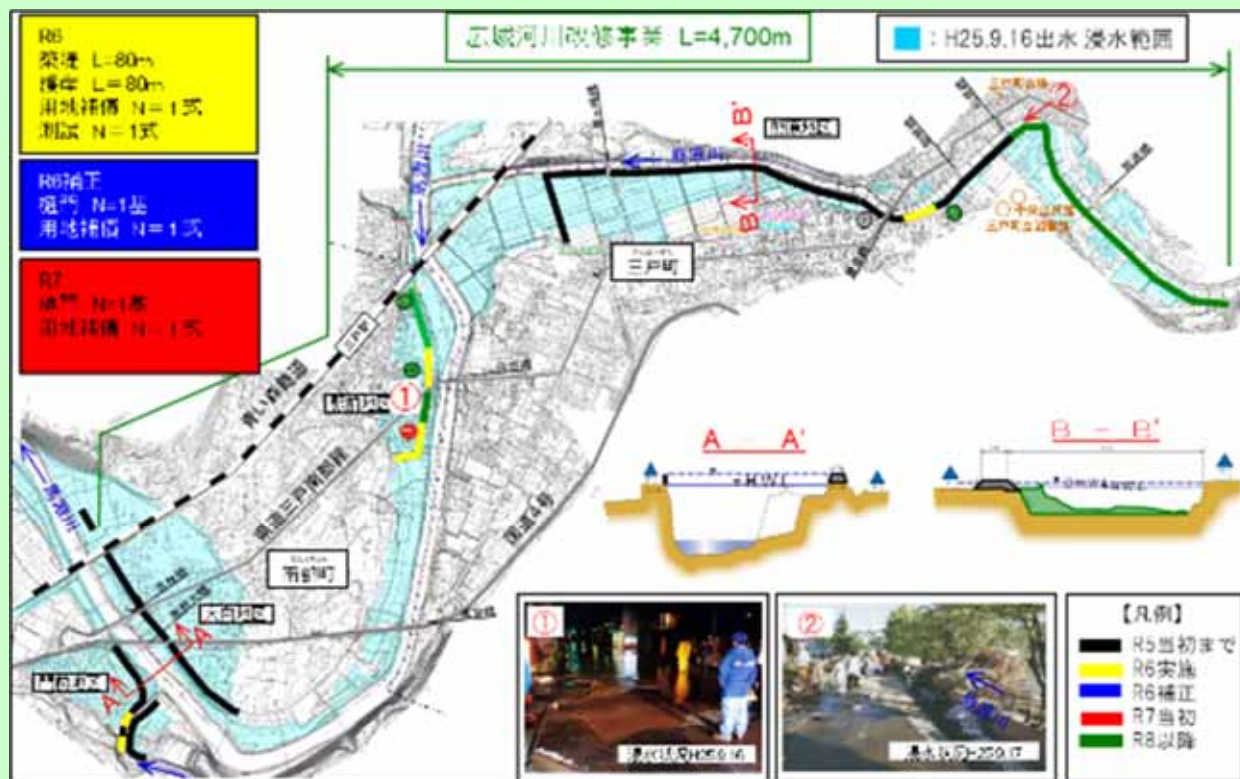
【溪間工】

【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (青森県河川砂防課) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

馬淵川水系馬淵川は、平成25年洪水により、馬淵川で床上浸水131戸、床下浸水54戸、熊原川で床上浸水46戸、床下浸水32戸の浸水被害が発生したことにより、平成26年に整備計画を変更して浸水被害を解消するため改修を進めていた。今年度は築堤工、護岸工等を集中的に実施した。

馬淵川 改修事業の実施



馬淵川 熊原工区 護岸工事状況について



【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (青森県防災危機管理課) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

県民向けの自主防災組織の結成・活動促進に係る取組を実施。



防災グッズの展示



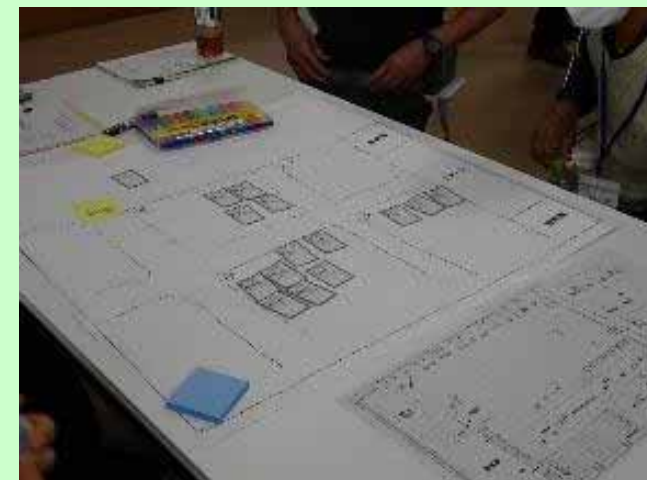
段ボールベッドの組み立て体験



講義の様子



グループワークの様子



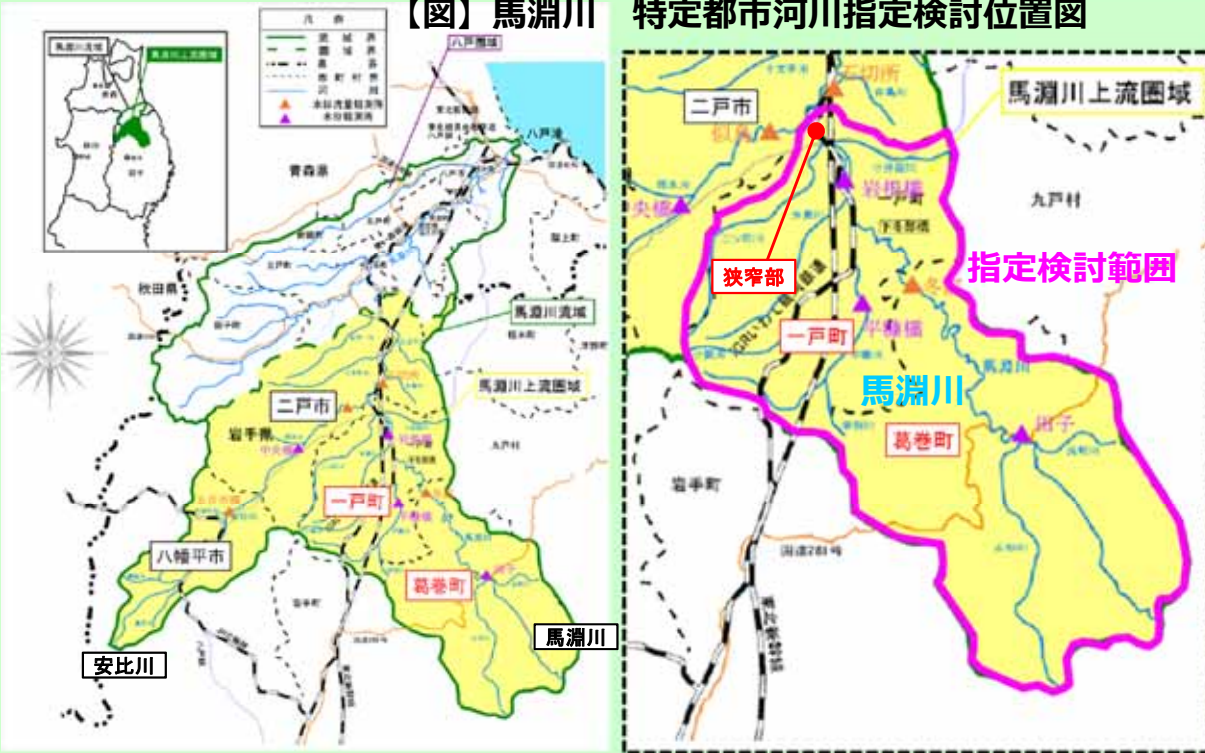
【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (岩手県) 取組実施内容・取組予定事例

○一級河川馬淵川の特定都市河川指定に向けた取組状況

【馬淵川（葛巻町、一戸町）】

- ・ 令和5年7月、指定対象町を対象に、制度の詳細に関する勉強会を開催。
- ・ 令和5年7月、特定都市河川指定方針等検討業務委託を契約。
(流域水害対策計画(素案)の検討に着手)
- ・ 令和5年8月、「特定都市河川」指定に向けた、ロードマップを公表。
- ・ 令和6年3月、「流域水害対策計画」の検討等を目的に、2町等の関係機関で「流域水害対策検討会」を設置。

【図】馬淵川 特定都市河川指定検討位置図



【写真】馬淵川（一戸町）
令和4年8月降雨浸水状況



水系	代表河川	指定河川数	実施主体	R5	R6	R7	R8	R9~	備考	
馬淵川水系	馬淵川	9河川	岩手県 葛巻町 一戸町	特定都市河川指定 に向けた検討・合意形成			指定	計画 検討	計画策定	浸水被害 対策 の実施

【公表】
特定都市河川指定に向けた、
ロードマップ

【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (三八上北森林管理署) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

森林の有する多面的機能の維持・増進を図るため間伐等の森林整備を推進するとともに、流木や山腹崩壊を抑制する治山施設の整備に取り組んでおり、これらについてHPで情報発信しています。

森林整備や治山事業の取組概要について ホームページ上で情報発信



「三八上北の国有林」令和6年度版



森林整備・下刈



森林整備・間伐



森林整備・除伐



独立基礎型立木捕捉工

【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (森林整備センター) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

森林所有者等と協力して、馬淵川流域上流部の民有林において、育成複層林を造成。



育成複層林の造成を進めています

森林整備センターは、水源涵養や土砂の流出防止等に係る公益的機能を持続的かつ高度に発揮するため、複数の樹冠を有する育成複層林の造成を積極的に推進しています。

森林の持つ主な公益的機能

水源かん養

- 洪水緩和
- 水質浄化

山地保全

- 土砂流出防止
- 土砂崩壊防止

環境保全

- 炭素固定
- 生物多様性保全



〈単層林(従来の森林)〉



〈育成複層林〉



群状の育成複層林



帯状の育成複層林



国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター
<http://www.green.go.jp/>

【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (青森地方気象台) 取組実施内容・取組予定事例

○ 線状降水帯降水帯に関する情報提供

- ・線状降水帯の予測精度向上の取組を順次進め、集中豪雨に対する情報を段階的に提供
- ・「線状降水帯」による大雨の可能性を、半日前からお伝えします

具体的な取組み内容

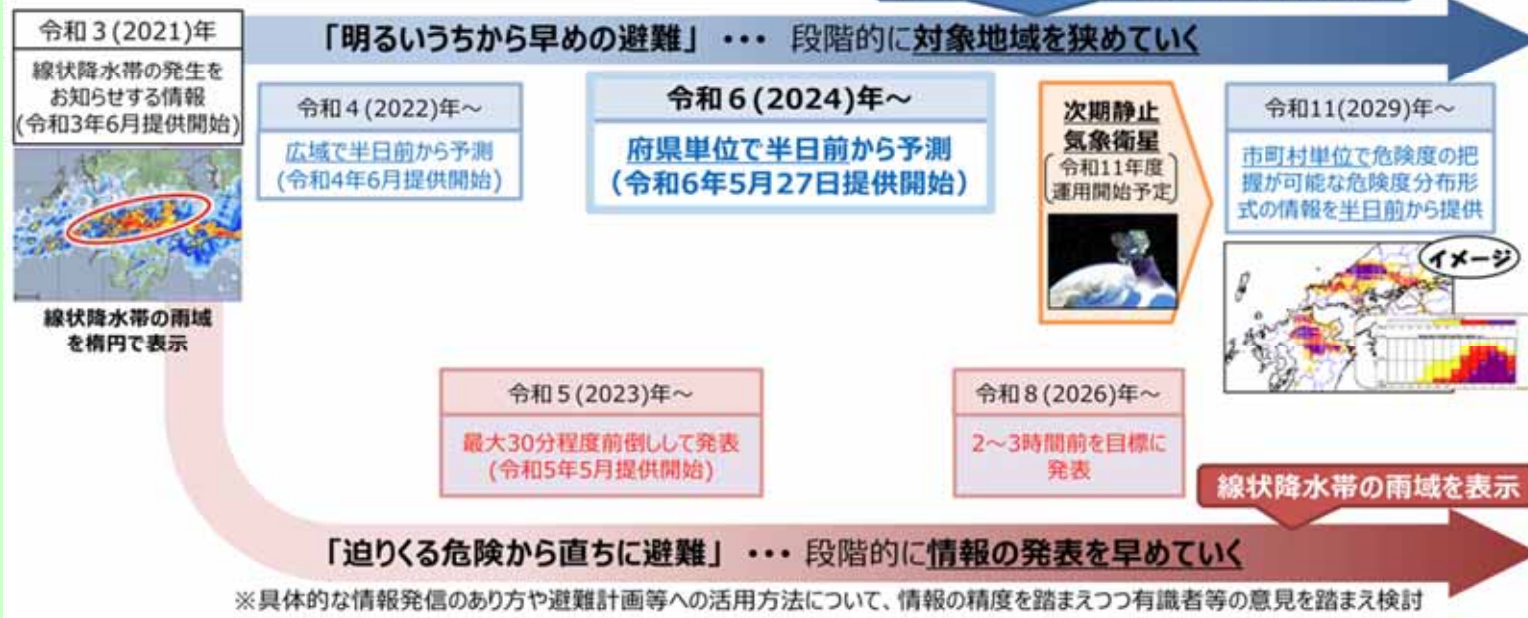
線状降水帯による大雨の可能性が高いことが予想された場合に、半日程度前から、気象情報において、「線状降水帯」というキーワードを使って呼びかけます。

この呼びかけは、警戒レベル相当情報を補足する解説情報として発表します。

線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけの活用イメージ



線状降水帯による大雨の可能性をお伝え



【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (青森地方気象台) 取組実施内容・取組予定事例

○ 水害リスクラインと洪水キキクルの一体的表示

・水害リスクライン(国管理河川の洪水の危険度分布)と、洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)を、洪水キキクルページ(気象庁HP)で一体的に表示。自治体・住民がより詳細なリスク情報を確認可能

具体的な取組み内容

国管理河川では、縮小時は指定河川洪水予報の危険度を表示。
拡大時は水害リスクライン※を表示し、より詳細なリスク情報を確認可能。

※水害リスクライン:国管理河川では、計算により推定した水位を、左右岸それぞれ、概ね200mごとに堤防等の高さと比較し、洪水の危険度レベルを表示。

各箇所の危険度をきめ細かく把握できることから、避難情報発令の参考にできる。



【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (青森地方气象台) 取組実施内容・取組予定事例

○「あなたの町の予報官」による地域防災支援業務を強化

- ・地域毎の災害特性を踏まえた人材配置による「担当チーム」を編成
- ・各市町村固有の課題への対応を含め市町村に寄り添い、担当者同士の緊密な連携関係を構築

具体的な取組み内容

平時

- ・市町村等との「顔の見える関係」構築
- ・災害リスクや情報利活用の研修・演習
- ・防災計画や避難指示マニュアル等への助言
- ・関係機関等との連携した取組

緊急時

- ・記者会見による呼びかけ
- ・ホットラインによる首長への助言
- ・JETT(気象庁防災対応支援チーム)の派遣

災害後

- ・自治体等と共同で「振り返り」を実施

気象防災ワークショップの推進

【市町村・消防本部 危機管理(防災・消防)担当課長会議】



- ・防災対応能力の向上を図ることを目的に、気象防災ワークショップの開催を、県及び市町村に呼び掛けている。
- ・5段階の警戒レベルと防災気象情報の関係など、最新の情報を踏まえたワークショップを実施。

今後も、市町村に出向き実施を呼び掛ける。

積極的にJETTを派遣

【青森県災害情報連絡員会議】



震度5弱の地震発生時や台風接近時などには、気象解説等のため積極的にJETTを派遣しています。

「振り返り」の実施

【市町村担当者と振り返り】



災害や避難指示発令等の対応を市町村と振り返り、検証、改善することで地域の気象防災力の強化を図る。

【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (青森地方気象台) 取組実施内容・取組予定事例

○ 防防災気象情報等のWeb講座を実施

- ・平時に県、市町村、河川事務所等の防災担当者向けに、防災気象情報等のWeb講座を実施。
- ・大雨の前に、Webによる大雨警戒の呼びかけを実施し、災害後には振り返りを実施。

位置図

「馬淵川水系」

大雨等が予想される市町村又は実際に災害が起こったり避難指示を発令した市町村に対して実施。



具体的な取組み内容

【平時】

- ・県、市町村、河川事務所等の防災担当者向けに、大雨に関する防災気象情報等のWeb講座を実施。

【大雨の前】

- ・大雨等が予想される場合、関係市町村及びマスコミ等にWebにより警戒を呼び掛ける。

【大雨の後】

- ・災害や避難指示発令等の対応を市町村と振り返り、検証、改善することで地域の気象防災力の強化を図る。

施策の実施工程

取組項目	対策内容	工程		
		短期 (R7まで)	中期 (R12まで)	中長期 (R12以降)
防災意識向上のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・防災情報のWeb講座 ・警戒呼びかけ、振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回程度 ・大雨時 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回程度 ・大雨時 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回程度 ・大雨時

【馬淵川】流域治水の自分事化に向けた取り組み計画 (青森河川国道事務所) 取組実施内容・取組予定事例

【取組実施内容】

戦後最大洪水である昭和22年8月洪水に対し、気候変動の影響による降雨量増加を考慮した洪水の外水氾濫による浸水被害を防止するため、一日市地区の「河道掘削」を実施。

馬淵川の河道掘削について

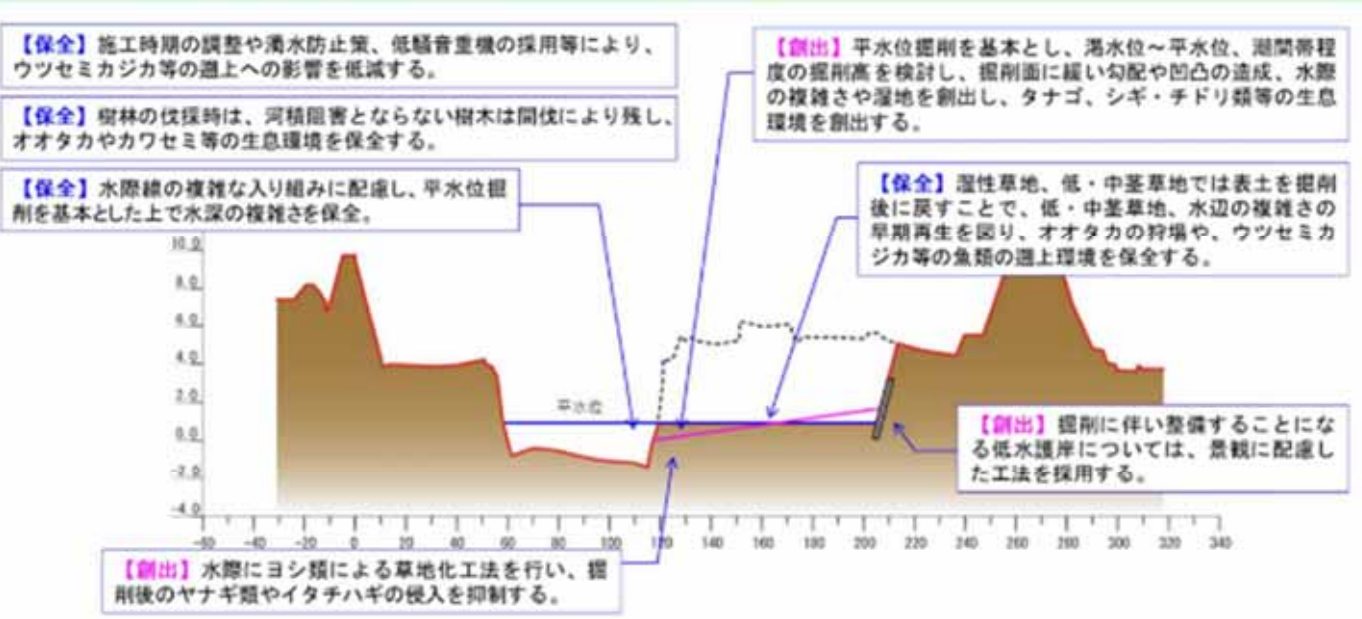


図 5.4 河道掘削のイメージ

※馬淵川河川整備計画(令和6年1月)より

一日市地区の河道掘削状況

